



家計の

節約
レシビ

SE-TSU
YA-KU

ご質問は左ページ下の送り先へ

結婚後一年がたったばかりの夫婦です。

当分の間は子供を作る予定もなく、今は二人だけの時間を
楽しみたいと考えています。先日母から「節約は大事だから
そろそろきちんと家計簿を付けなさい」と言われました。赤
字は出さないようやりくりしているつもりですが、こんな私で
も節約の必要があるのでしょうか。

アドバイザーは、税理士・CFP®林 高宏さん(鹿児島市=林高宏税理士事務所所長)

Sさんの家計簿(鹿児島市在住)[夫27歳(会社員)、妻24歳(専業主婦)]

収入

<支出続き>

ボーナス収支(年間)

夫	260,000円
計	260,000円

日用品	5,000円
衣料費	10,000円
家電品ローン	10,000円
車保険	15,000円
生命保険	5,000円
外食・レジャー費	10,000円
その他	5,000円
貯金	10,000円

●収入	
夫ボーナス	300,000円

支出

●支出	
旅行費用	120,000円
車関係	40,000円
レジャー費	50,000円
その他	40,000円
貯金	50,000円

家賃(駐車場込)	65,000円
食費	25,000円
水道光熱費	15,000円
通信費(携帯電話代含む)	15,000円
夫小遣い	30,000円
妻小遣い	10,000円
ガソリン代	10,000円

合計 240,000円
黒字 20,000円

貯蓄残高

夫名義貯金	100,000円
妻名義貯金	500,000円

A. まずは家計簿をつけて。
給料日に積立貯金の習慣を！

今回から、このコーナーを担当させて頂くことになった林です。皆さんからのご質問に一つでも多くお応えしようと、今から張り切っていますので、沢山のお便りをお寄せください。よろしくお願ひいたします。さて、記念すべき第一号のお便りは、夫婦揃って旅行が大好きで、暇とお金さえあれば国内を旅して回っている、そんな先月やつと初めての結婚記念日を迎えたばかりの奥様からのものです。

遊んでばかりいる二人の様子を見て、お母さんも少々心配になってきたのでしょうか、人生にはそういう時期も必要です。しかし、楽しい時が永遠に続く訳ではありません。そろそろ将来を見据えて、節約術を覚え、貯金を始めてはいかがですか。勘違いしがちなのですが、節約とは別に私たちが

今回から、このコーナーに我慢を強いるものではなく、お金を使う時期を集中させて、より大きな満足感を得ようとするものです。そのためには家計簿を付けることが必要不可欠です。家計簿がないと、自分が節約できる部分を知ることができません。家計簿は世の中に一つしかない我が家の大切な羅針盤なのです。

さて、あなたの場合、今後旅行に量より質を求めようにしてはいかがでしょうか。支出を半分に減らす代わりに、記憶に残る旅をするようにすると29万円のお金が浮いてきます。年間17万円の貯金はできていきますので、さらに、携帯代・衣料費などを見直せば、年間50万円の貯金は可能です。とりあえず目標を100万円にして、毎月給料日に積立貯金を始めてはいかがでしょうか。

が、節約とは別に私たちが

貯金を始めてはいかがでしょうか。